

主の回復は、卓越した賜物である預言を回復して、  
キリストのからだとしての召会を建造することである

聖書： I コリント 14:1, 3-5, 12, 24-26, 31-32, 39. エペソ 4:11-16

- I. 預言することは卓越した賜物であり、キリストのからだとしての召会を建造するためです。I コリント第 14 章での預言することは、予告し、予言するという意味ではなく、主のために語り、主を語り出して、キリストを人の中に分与するという意味です—— 1, 3-5, 12, 24-26, 31-32 節。
- II. モーセは、神の民がすべて預言者となって預言することを願いました。使徒パウロは、わたしたちがみな預言することができることを教え、預言することを追い求め、熱心に願い求め、求めるようにと命じました——民 11:29. I コリント 14:1, 12, 31, 39. 参照、I テサロニケ 5:20。
- III. 預言することを禁じるのは、神の御前で罪です——アモス 2:12 後半. 7:12-13, 16-17. エレミヤ 11:21-23。
- IV. 預言者、祭司、王の三つの機能のうち、預言者の機能が最高です。なぜなら、預言者は直接、神の言葉を受けて得ることができるからです：
  - A. 旧約で、預言者は王を責め、指示し、教えることができ（サムエル下 12:1-14）、祭司を教えることもできました（ハガイ 2:10-19. マラキ 1:6 — 2:9）。新約で、すべての信徒は再生されて祭司また王となりましたが（I ペテロ 2:5, 9. 啓 1:6）、預言者となるのはわたしたちが求め、熱心に願い求めることにかかっています（I コリント 14:1, 12, 39）。
  - B. すべての信徒は預言する能力と義務を持っています（31, 24 節）。その霊は常に語る用意があり、わたしたちと共に、わたしたちを通して語ることを期待しているので、わたしたちは神の語る霊と協力し、自分の天然の人とその個性、習慣に反対しなければなりません（サムエル下 23:2. 使徒 6:10. II テモテ 4:2）。
  - C. 預言することはわたしたちを勝利者にします。預言することは勝利者の機能です——啓 1:20. 2:1, 7。
- V. 新約によれば、三種類の預言者がいます：
  - A. エペソ第 4 章 11 節から 12 節の預言者は、神によって特別に立てられて、聖徒たちを成就するための人です——参照、I コリント 12:29。
  - B. 使徒第 21 章 8 節から 9 節の預言者は、神のために予告することができる人です。
  - C. I コリント第 14 章の預言者は、召会の集会で、召会の建造のために、神のために語り、神を語り出す人です。すべての信徒は、このような預言者になることができます—— 1, 5, 31 節。
- VI. I コリント第 14 章 26 節で描写されている、召会を建造するための正常な召会の集会は、相互性の集会であって、その中で「それぞれの人に……があり」、わたしたちが「みな一人ずつ預言することができる」（31 節）集会であり、「預言する者は召会を建造」（4 節）する集会です。主の現在の回復の中で、この言葉の成就是永遠に意義があります。
- VII. I コリント第 14 章 26 節は聖なる御言の一部として、キリストのからだが建造されるために成就される必要があります。この有機的な建造がなければ、マタイ第 16 章 18 節での主の預言は成就されることができませんし、花嫁としての召会は、花婿としてのキリストのために用意されることはできません。

VIII. I コリント第 14 章 26 節にしたがって集会するために、わたしたちは預言することを願い、学び、毎朝復興され、毎日勝利の生活をすることによって、預言する生活をしなければなりません—— 1, 12, 31 節。箴 4:18。哀 3:22-24。詩 119:147-148。啓 2:7。21:7。I ヨハネ 1:6-7。

IX. わたしたちは預言する生活をし、以下の資格を持たなければなりません：

- A. わたしたちは、「役にも立たないことから尊いものを取り出」さなければなりません——エレミヤ 15:19。
- B. わたしたちは主を愛し、主に近づき、主と一にならなければなりません—— 1:8-9。詩 73:28 前半。I コリント 2:9, 15。参照、14:31-32。
- C. わたしたちは神と親密でなければなりません。わたしたちと神との関係は、個人的で、愛情に満ちて、秘密で、霊的でなければなりません——詩 25:14。雅 1:1-4。
- D. わたしたちは、あらゆる問題を神の臨在の中にもたらし、神と接触して、神から言葉を受ける者でなければなりません——詩 73:3, 17。
- E. わたしたちは言葉の務めのために祈らなければなりません——使徒 6:4。
- F. わたしたちはいつも喜んでおり、絶えず祈り、あらゆることで感謝して、その霊を消さず、預言を軽んじない者でなければなりません——I テサロニケ 5:16-20。
- G. わたしたちは知恵を尽くして、キリストの言葉を内に豊かに住ませ、詩と賛美と霊の歌とをもって、互いに教え戒め合い、恵みの中で、心から神に向かって歌わなければなりません——コロサイ 3:16。
- H. わたしたちは神の言葉の知識で満たされ、充足した神聖な語彙を得なければなりません——ルカ 1:46-55。使徒 5:20。I ペテロ 4:11。
- I. わたしたちは本質的にもエコノミー的にも、究極的に完成された霊で満たされなければなりません——マタイ 5:12。使徒 13:52。4:8, 31。13:9。2:38。5:32 後半。

X. わたしたちは I コリント第 14 章の道にしたがって、正しい預言の構成を見なければなりません：

- A. 預言の構成は、神、キリスト、霊的な事柄に対する認識と経験、これらのことを語り出す発表力を含みます。
- B. 預言の構成は、わたしたちがいる状況と環境に関する神聖な照らしの下での視力を含みます。
- C. 預言の構成は、わたしたちの霊をかき立てて語らせる、その霊の即時的な靈感を含みます——使徒 5:20。
- D. 正しい預言を語り出すことで、わたしたちは個人的な経験、証し、感覚、思い、意見、愛情、いかなる人、事、物に対する反応にも固執してはなりません——II コリント 4:5。

XI. キリストの有機的なからだの直接の建造は、からだ自身によります。すなわち、キリストのすべての肢体が自分の度量の中で、おもに預言する（主のために語る）中で機能することによります——エペソ 4:16。I コリント 14:4 後半, 12, 31。ヘブル 10:25。

XII. わたしたち、このビジョンを見た者は、負担を持って殉教者として自分を犠牲にし、主がエペソ第 4 章 11 節から 16 節を完成する道を得ることができるようになります。その目的は、彼の有機的なからだを建造することであり、それはすべての聖徒が成就されて預言し、キリストを語ることにあります。それは地上の至る所に、I コリント第 14 章 26 節にしたがった相互性に満ちた集会があるためです。